

## 6月市議会 一般質問報告 (6/10) 彦坂和子

### 1、学校給食費の無償化・一部補助について

- \***県内** 県センター連絡協議会調べ 4/1 現在
  - ・何らかの補助⇒47市町村のうち15市町村、県内の約3分の1補助をおこなっていない⇒32市町
- \***西尾張10市町**
  - ・補助 大口町 1食あたり小学校135円、中学校155円。津島・愛西・あま市、蟹江町 10円から30円
  - ・義務教育に通う3人目から給食費無償 岩倉市、扶桑町
  - ・補助行っていない 一宮市、江南市、稲沢市



一宮市の給食費は、1食あたり小学校250円、中学校285円。月20回の場合、月額1人小学校5,000円、中学校5,700円。2人で10,000円の負担子育て世帯は大変に苦しい状況です。

**【質問】** 県内では多くの自治体が給食費の無償化、一部補助を実施している。憲法第26条第2項の「義務教育はこれを無償とする」との立場から、子育て支援の一環等の立場から、一宮市でも給食費の無償化あるいは一部補助を実施してほしい。1食あたり10円補助することになれば、予算いくら必要か。検討を始めてほしいと思うが、考えを聞かせてほしい。

**【答弁】** 令和3年度に1食10円の補助事業を実施したと仮定しますと約6,100万円の予算を要することとなります。無償化あるいは一部補助について、学校給食法では、食材費は保護者負担とされており、法律に定める範囲で運営していきたいと思えます。



全国では 1740自治体で無償化・一部補助は約3割。

(2017年文科省が初めて学校給食費の無償化等実施状況調査)

無償化の成果 ・児童生徒—自治体への感謝の気持ち、残食減の意識向上

・保護者—経済的負担軽減、親子で食育を話す機会増加、教育への関心増加

\*一宮でも学校給食費の無償化または一部補助

5円でも10円でも 検討を始めてほしいと思えます

### 2、テナント型保育所の3階から1階までの乳児の緊急避難と認可について

**【質問】** 競輪場跡地に建設の商業施設内ウェルネス保育園一宮を見てきた。外付けの非常階段は屋根もない、手すりは高い、各段も高く、保育士の誘導があっても3歳未満児自身が階段を使って降りることはできるのか疑問。もともと歩けない子どもがほとんど。乳児定員60人を最大保育士15人(非常勤保育士含め)でどのように緊急避難させるのか、法人の考え、市の考えを教えてください。



**【答弁】** 緊急避難についての法人の考えは、万一玄関から避難できない時は、保育園から直結されている屋外の非常階段を使います。歩ける子は保育士と一緒に歩き、歩けない子は全保育士、事務員、調理師が抱っこひもやおんぶひもを使い避難する計画と確認しております。

**【質問】** 避難訓練で非常階段を使わなければいけないことがある。私個人の考え、外階段にスロープや屋根の設置すること、滑らないようにすることなど、乳児を緊急に避難できるように、整備の検討をしてほしいが、考えを聞かせてほしい。

**【答弁】** ウェルネス保育園一宮は現状においても設備上の認可基準を満たしていますが、より安全に避難できるように、外階段の設備の向上について、必要に応じて、ウェルネス保育園一宮から建物の所有者である商業施設に要望するよう、助言していきます。

\*緊急事態(地震・豪雨・台風・火災・不審者侵入による事件)が発生した時、子どもたちの安全避難のため、保育園職員は的確に判断して冷静・迅速に対応するために、しっかりと訓練をする必要があります。

\*公立保育園53園、私立保育園15園 認可保育園68園はすべて平屋か2階建て、緊急避難時を想定してほとんど1階に乳児室があります。

3階の乳児保育が安心して保育できる環境ではないと考えています。

\*市は2022年4月 同保育園を認可したので、何よりも子どもたちの命を守り、安全確保のための責任があると思います。

その立場で取り組んでいただきたいと思います。





### 3、千秋の物流倉庫建設と許可について

**【質問】** 市は千秋町浅野羽根地域の倉庫建設の開発許可をした。この地域はハザードマップで3～5m浸水想定地域。過去にたびたび水害が起きている。写真は2004年7月10日浸水被害が発生した様子。このような地域になぜ開発許可をしたのか。



**【答弁】** 都市計画法に基づく開発許可は、その許可基準に適合することが許可の条件となっております。この浅野羽根地域の開発計画は、都市計画法第29条、及び同法第34条第14号の規定に基づく一宮市開発審査会基準第7号の基準に適合したものでございます。

予定地の周辺地域では多くの住民が倉庫建設反対の意思を示しています。3月市議会に建設中止を求める請願書提出、5月市長宛「許可しないことを求める陳情書」提出。6/6市が物流倉庫建設に開発許可を出したことについて不服審査請求書を提出しました。地域では市が許可したことについて怒りが広がっています。



**【質問】** 保水能力が大きい水田を全面的に埋めたてることにより、周辺への浸水被害への影響が増大する、地域住民の命や安全、財産が守られないことになると考える。そのことによる実質的な審査が行われていない。倉庫建設に関し、建設許可は撤回すべきだと考える。市長の見解をお聞かせください。

**【市長】** 今回の千秋町のエリアは、水害対策で市内の他のエリアより厳しい審査基準で土地の利用形態の変更の審査がされています。それでも住民の皆さんの不安の声が私どもに届いていました。行政としてもスムーズに受け入れられるようにと思ひ、進出される企業にもう少し待ってくださいますようお願いしました。雨水貯留施設としては進出企業が基準より厳しい計画になっているなどで許可すべきと判断しました。(概要)

\*水田を埋めれば、水田に溜まっていた水が流れ出すことは明らかです。過去に浸水被害にあっている地域住民の不安があります。今までよりも水害が起きやすいのではないかと不安に答えるには、市は総合的に判断をすることが求められます。地域住民に安全だと言える対策がないなら、許可は撤回すべきではないかと考えます。



検討をお願いします。

### 4、国民健康保険税の滞納と資格証明書の発行について

**【質問】** 国保の世帯数、被保険者数、滞納の状況、特に加入世帯の内、所得300万円以下の世帯における滞納の状況について教えてほしい。

**【答弁】** 令和4年4月末日現在、国保世帯数は47,704世帯で、市の全世帯に占める割合は28.9%です。また、被保険者数は73,479人で、国保加入率は19.3%です。

国民健康保険税の滞納世帯の状況は、令和2年度の現年課税分の数値で、令和3年5月31日現在で4,672世帯、割合8.5%です。

このうち、所得300万円以下の世帯は4,081世帯で、この所得区分の世帯に占める滞納世帯の割合は9.2%です。

○一宮市の資格証明証の発行件数 4月末現在 31世帯、34人に発行  
○県内の状況 2021年6月1日現在  
54市町村のうち、一宮市を含む9市町で328世帯に発行



**【質問】** 資格証明書の発行はやめてほしい。資格証明書発行の考えを教えてください。

**【答弁】** 国保税の滞納者との面談機会を増やし、納税相談をしていただくことを目的としており、国保運営上必要な制度と考えていますが、滞納者との面談機会を得ることは短期保険証の発行でもできるため、近年、県内では資格証明書の発行をしていない市町村も多くなっており、一宮市でも2021年度からは新規での資格証明書は発行していません。2021年度より前から資格証明書が発行されている世帯についても、2022年8月からは全員が短期保険証に移行する予定で準備をしています。

\*保険税を継続して納付している世帯には、正規保険証を交付してほしい  
国保加入者の命と健康、生活と営業を守る施策を引き続きよろしく申し上げます。

#### ■ 傍聴した市民の感想

○コロナ禍で傍聴ができず、初めて一般質問を傍聴しました。議場に映る物流倉庫の写真が大きくて、よくわかりました。市長の答弁は真実ではありません。慎重に審議したと話していますが、住民の反対運動があったこと、それを受けて企業も許可を延長したいとの考えがあったからです。住民の不安に対して市は、しっかり対応してほしいと思います。(60代男性)

○初めて本会議場に入って傍聴しました。彦坂議員の質問で、3階から1階まで乳児が緊急避難する時の非常階段の写真が、議場に大きく映し出されて、緊急避難がいかに難しいか、よくわかりました。また3階で乳児保育を行うことを認めている市の保育に対する姿勢が問われていることも、よくわかりました。(60代女性)

